

2017年1月26日

各位

積水ハウス株式会社

日本経済新聞「第20回環境経営度調査」において 全指標最高評価で建設業首位を獲得

積水ハウス株式会社(本社:大阪市北区 社長:阿部 俊則 以下、積水ハウス)は、1月23日(月)に発表された日本経済新聞「第20回環境経営度調査」において、全指標において最高評価とされ、建設業首位を獲得しました。

「環境経営度調査」は企業が環境対策と経営を両立させる取り組みを評価する調査であり、第20回の今回は上場企業と非上場企業の有力企業のうち、製造業1733社、建設業を含む製造業以外1429社を対象に調査が行われ、657社が有効回答しました。

- ① 5つの指標すべてにおいて最高評価、建設業首位を獲得
- ② ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)普及率が71%など温暖化対策が評価
- ③ 「エコ・ファースト企業」として、住宅業界を牽引し、環境経営をさらに推進

建設業の評価指標は、製造業と同様に「環境経営推進体制」「汚染対策・生物多様性対応」「資源循環」「製品対策」「温暖化対策」の5つです。各指標のトップ企業がスコア100となります。積水ハウスは全指標でトップと評価され、最高スコアである500を獲得し建設業界完全首位となりました。

「温暖化対策」として、当社が進めている取り組みのうち、長期目標として2050年の「脱炭素」、2030年パリ協定の目標遵守を明確化し、高い断熱性と高効率設備などによる省エネルギーと太陽光発電や燃料電池など創エネ機器の導入によりエネルギー収支「ゼロ」を実現するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)である「グリーンファースト ゼロ」の普及率を新築戸建住宅の71%にまで広げている実績などが評価されたものと考えております。



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)である
「グリーンファースト ゼロ」の例

積水ハウスは環境大臣認定の環境先進企業「エコ・ファースト企業」として、環境に対する取り組みを改善してまいりました。今後も、「ストックまで含む家庭部門の1次エネルギー消費の27%以上(2013年比CO₂削減39.3%)削減」などを目指し2016年12月1日に更新した「エコ・ファーストの約束」を果たすべく、環境経営をさらに加速させて参ります。

<ご参考>

当社の環境・CSRの取り組みを紹介している「サステナビリティレポート 2016」

<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/>

当社が環境大臣に宣言している、「エコ・ファーストの約束」(添付)



本件に関するお問合せ先
積水ハウス株式会社 広報部
(大阪)TEL06-6440-3021 (東京)TEL03-5575-1740





エコ・ファーストの約束(更新書)

環境先進企業としての地球環境保全の取組み

平成28年12月1日

環境大臣 山本 公一 殿

積水ハウス株式会社
代表取締役会長 兼 CEO

和田 勇

積水ハウス株式会社と積水ハウスグループ各社は、最も多くの住宅を供給する企業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、環境配慮を通じ積極的に社会に貢献するため、以下の取組みを進めてまいります。

1. 家庭部門及び事業活動に伴うCO₂排出量削減を積極的に推進します

- ∴ 快適でエコな暮らしの提案と環境配慮型住宅の普及を通じて、積水ハウスの戸建住宅・賃貸住宅について2030年までに国の目標である「ストックまで含む家庭部門の1次エネルギー消費の27%以上(2013年比CO₂削減39.3%相当)削減」を目指します。
- ∴ 戸建住宅事業では、快適で光熱費メリットが大きいZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)比率80%以上を2020年までに達成することを目指します。
- ∴ 賃貸住宅事業では、入居者の快適性と環境配慮を両立させるシャーメゾンの普及を通じて、取り組みが遅れている賃貸住戸のエネルギー消費削減を推進します。
- ∴ リフォーム事業では、省エネ改修を推進し、特に戸建住宅においては、快適で健康寿命を延ばし、エネルギー消費を削減する省エネリフォームを推進します。
- ∴ 分譲事業では、先進技術を用いることで安全安心に暮らせ、豊かなコミュニティを持つスマートコモンシティの考え方により、街区全体でエネルギー消費の少ないまちづくりを推進します。
- ∴ マンション事業では、高断熱、省・創エネ設備機器を積極的に導入したグリーンファーストマンションにより、新築マンションのエネルギー消費削減を推進します。
- ∴ 都市再開発事業では、オフィス・ホテルなど全ての物件で環境に配慮した開発を進め、非住宅建築物においてもエネルギー消費削減を推進します。
- ∴ 国際事業では、各国の状況を踏まえつつ、日本の優れた環境技術を用いた環境価値の高い開発を世界に広めます。
- ∴ 設計・営業などにおけるグループ全体の事業活動からのCO₂排出量を、(一社)プレハブ建築協会で定めた2010年度比で2020年10%削減の目標値を上回るよう、省エネエアコンやLED導入及びエコカー導入により積極的に推進します。

2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

- ∴ 自然の循環と生態系を守りながら、自然資本を持続的に利用して、豊かで心地よい暮らしを実現できる社会を目指します。
- ∴ 生物多様性の保全のため、鳥や蝶などが好む、地域に根ざした在来種中心の植樹「5本の樹」計画を住宅の庭づくりやまちづくりを通して積極的に推進します。2020年には2001年の事業開始からの累積植栽本数1500万本を目指し、緑豊かな環境(グリーンインフラ)の構築を推進します。
- ∴ 賃貸住宅における「シャーメゾンガーデンズ」や戸建分譲住宅におけるまちなみ評価制度「コモンズ」の普及などにより、グループ全体で快適で、緑化率に配慮し、資産価値を高めるまちづくりを推進します。
- ∴ 「木材調達ガイドライン」10の指針により違法伐採や自然生態系の喪失を防ぐとともに産出地域経済の自立にも配慮し、サプライヤーやNGOと協働して、認証材を始めとする持続可能な木材「フェアウッド」の導入を進めます。
- ∴ 全ての生物の生存の基盤となる水環境の保全に向けて、事業過程において水資源の効率的な使用を進めます。住宅供給においても節水型機器の提案を高めるとともに、敷地緑被率向上による雨水浸透を積極的に推進します。

3. 資源循環の取組みを積極的に推進します

- ∴ 暮らしの価値を向上させ、住宅の価値を高める提案型リノベーションや、まちぐるみ・コミュニティを含めた再生を推進し、社会資産の価値向上に努めます。
- ∴ グループ全体のゼロエミッションを加速させるために、資源循環センターを活用した新たな回収システムの整備を進めます。
- ∴ 生産・施工・アフターメンテナンス時のゼロエミッション(埋め立てゼロ、熱回収を伴わない焼却ゼロ)を継続するとともにマテリアルリサイクル率90%を目指し、今後、増大する既存住宅のリノベーションに伴う廃棄物については、マテリアルリサイクル率70%を目指します。
- ∴ ITを活用したゼロエミッションシステムにより廃棄物発生量を予測し、廃棄物の適正処理と削減に向けた取組みをより円滑に推進します。

積水ハウス株式会社は、上記取組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及びサステナビリティレポート(環境・CSRの報告書)による公表を行ってまいります。また、「エコ・ファーストパーク」や「住ムフムラボ」などを通して環境リテラシーの普及に努めます。さらに、環境教育プログラム「Dr. フォレストからの手紙」、「いきもの調査」、「いえコロジー」など環境についての啓発及び調査を積極的に推進します。